

非翻訳者向け CAT ツール「ヤラクゼン」の仕組みと課題

坂西 優
八楽株式会社

1 はじめに

近年のグローバル化の加速やソーシャルメディアの浸透により、年々翻訳のニーズは高まってきている。翻訳市場は世界で約 4 兆円、日本だけでも 2,500 億円以上あり、年 2-4%の成長率となっている [1]。その大半のニーズがビジネス用途であり、特に成長しているニーズは、ビジネスの現場で日々発生するメールやプレゼンなどの社内資料、及びウェブサイトやカタログなど企業のマーケティングメディアである [2]。

産業翻訳における翻訳ニーズは「品質」「コスト」「スピード」の 3 つのバランスで満たされると言われている。現在広く利用されている翻訳オプションとして、機械翻訳、翻訳会社、クラウドソーシングが挙げられるが、各々は翻訳ニーズにおいて下記の点を満たしにくいと考えられる。

- 機械翻訳は、そのままでは「品質」においてビジネス用途の要求レベルに達しない。
- 翻訳会社による人手翻訳は「コスト」と「スピード」において日々発生する翻訳ニーズを満たせない。
- クラウドソーシング翻訳は「早く取った者が翻訳する」という特性から「品質」にバラツキが出やすいうえ、メールなど高頻度で発生する翻訳においては「コスト」の点でニーズを満たせない。

よって(プロ翻訳者でない)一般のビジネスマンが、メール等に代表される日常的に多発する文書の翻訳要求を満たすためには、ある程度の自らが翻訳(的)作業を行ってコスト抑制を目指し、機械翻訳やクラウドソーシング翻訳などを最大限に活用しながら効率や品質を担保するような(CAT)ツールの利用が望ましい。単体のサービスに依存するのではなく、それぞれの利点を活用しようという考え方に基づくものである。しかしながら現在多くのプロ翻訳者が利用している SDL TRADOS といった CAT ツールは、ユーザー対象がプロ翻訳者であるため、導入コストと操作性の面で一般ビジネスマンは利用しづらい。「ヤラクゼン」は、このような一般ビジネスのニーズを満たすことができる(CAT)ツールを目指し開発した。

2 ヤラクゼンの特徴

「ヤラクゼン」は、以下の7つの特徴を持つ。

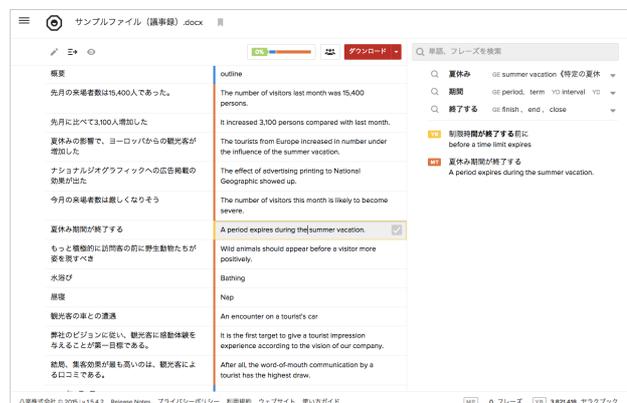
2.1. シンプルな UI

翻訳設定画面翻訳設定画面は、誰でも始めやすいようにテキストフィールドと言語メニュー、およびスタートボタンの3点のみの構成となっている。修正画面は、極力テキストを排除し、色と配置とデザインで直感的に利用できるようなUIを目指している。

翻訳設定画面



翻訳編集画面



2.2. 各種オフィスファイルに対応

ビジネスの現場において広く利用されている各種オフィスファイルに対応している。ファイルをドラッグ&ドロップするだけでアップロードが完了し、出力された翻訳ファイルは、元ファイルと同じ形式、同じレイアウトが維持される。

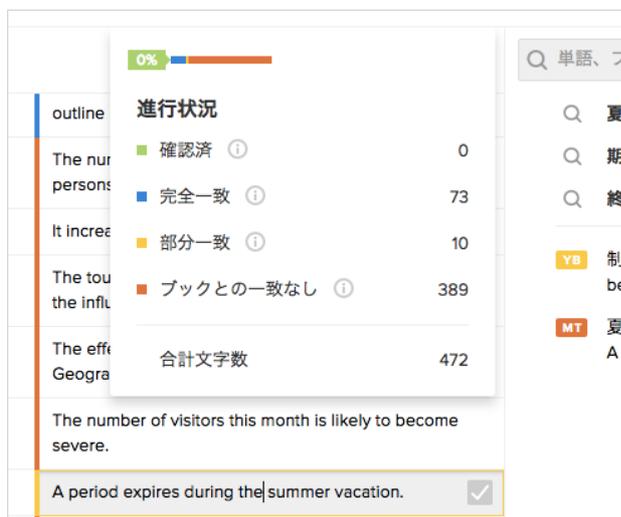
対応ファイル: .docx / .xlsx / .pptx / .pdf / .html / .csv

他に外部オンラインソフトウェアとの連携のために API を用意している [3]。また、ウェブサイト翻訳に対応するため、ワードプレス専用のプラグインもある [4]。

2.3. 標準化されたタブ区切り形式による軽量化

ユーザーが修正したテキストを「フレーズ集(翻訳メモリ)」として自動で保存し、機械翻訳においてその一致率に応じて活用する仕組みになっている。

- 完全一致: 過去に蓄積されたフレーズと 100%一致する文章は自動でそのまま置換する。
- 部分一致: 50%以上一致するフレーズがある場合は、その差分だけを入れ替えて合成翻訳をしたり、ユーザーが登録した単語を自動置換して機械翻訳をしたりする。
- 不一致: 一致率が 50%未満の場合は、ユーザーが登録した単語を自動置換して機械翻訳をする。



フレーズとの一致率および翻訳進捗状況

2.4. 文章を自動で分割し、文ごとに類似文や辞書データを表示

サイドパネルにおいて類似の例文や辞書データを自動表示する。辞書データにはジーニアス辞典を標準搭載して

いる。また、単語やフレーズをワンクリックで Google, Wikipedia, 及びヤラクゼンが提供するデータベースで検索できるクイック検索機能を搭載している。

サイドパネルでの関連データ表示

2.5. 100 種類以上の翻訳テンプレートを搭載

ヤラクゼンでは、英文メールのテンプレートを 100 種類以上用意している。自己紹介や御礼といった挨拶メールから、交渉や契約に関するビジネスメールまで幅広いシーンのテンプレートがあり、それらをカスタマイズすることで一からメール作成する手間を省くことができるようになっている。

また、翻訳を行った原文と翻訳文は、文書単位で自動保存されるので、よく使う議事録やプレゼン用資料などをユーザー個人のテンプレートとして利用することも可能となっている。

ヤラクドキュメント(テンプレート集)

エントリー	言語	最終更新
【eBay】 贈礼のお礼 (2)	日本語 → 英語	2015年10月8日
【eBay】 贈礼のお礼 (1)	日本語 → 英語	2015年10月8日
【eBay】 PayPal以外の支払いを断る	日本語 → 英語	2015年10月8日
【eBay】 ディスカウント依頼に対する返答	日本語 → 英語	2015年10月8日
【eBay】 配達に関する質問への回答	日本語 → 英語	2015年10月8日
【eBay】 在庫切れ	日本語 → 英語	2015年10月8日
【eBay】 色違いに関する問い合わせ (2)	日本語 → 英語	2015年10月8日
【eBay】 色違いに関する問い合わせ (1)	日本語 → 英語	2015年10月8日

2.6. 世界 4 万人の翻訳者に依頼

ヤラクゼンには一文単位で依頼できるクラウド翻訳機能も備えている。「翻訳を依頼する」ボタンから翻訳を依頼する文章と翻訳の品質レベルを指定すると、金額と予想完成時間を即座が表示される。

また、目的とカテゴリーを選んで注文すると、世界 4 万人のクラウド翻訳者が 24 時間対応で翻訳する仕組みになっている。クラウド翻訳者に依頼した翻訳文もユーザーのフレーズ集に自動保存されるので、機械翻訳、テンプレートなどを使うのと同じようにクラウドソーシング翻訳を活用することができる。

翻訳依頼画面

送信する文章	量	小計
完全一致	0	¥0
部分一致	10	¥60
ブックとの一致なし	253	¥1,518
合計	263	¥1,578
予想完了時間	3時間 ~ 21時間	

2.7. 料金設定

ヤラクゼンでは、パーソナルプランとプレミアムプラン、カンパニープランの3つのプランが用意されている。無料で導入できるため、一般のビジネスマンが利用しやすくなっている。

3 導入状況

ヤラクゼンは 2014 年 1 月より開発をスタートし、2014 年 9 月に β 版公開、2015 年 10 月に一般公開している [5]。

現在は、主に日本のユーザー、約 1 万人以上が利用している。

4 ヤラクゼンの今後の課題

今後、ユーザーからのフィードバック結果を中心に、下記4つの課題解決に注力する。

4.1. UI/UX の向上

ユーザーのフィードバックによると、原文を文毎に分割して修正するというコンセプト及び UI にとまどう人も多くいる。よって、現在の元テキストと翻訳テキストが左右に配置されている編集画面に加え、元ファイルのプレビューを見ながら直感的に編集できる「プレビュー編集機能」や、他ユーザーに翻訳修正を依頼できる機能を開発する。

4.2. ポストエディットを考慮した MT 開発

ヤラクゼンは現在、市販されている MT エンジン(統計解析翻訳及びルールベース翻訳)を組み合わせ、そのベースに合成翻訳機能や単語入れ替え機能を組み込んで動作している。今後は、より「ポストエディットの用途に最適化した MT」を開発していく。その際に目指す MT 開発の指標は「翻訳品質」ではなく、「ユーザー満足度」である。ヤラクゼンのユーザーフィードバックによると、「文法的に正しいか」「ユーザーが登録したデータが反映されているか」「ユーザーの好みの表現になっているか」をより重要視する傾向が見られる。よってユーザーが修正したデータをより効果的により迅速に MT 結果に反映される仕組みを開発する。

また、翻訳プロセスにおいて更に MT を活用するために、原文を単文化したり主語を補足して提案したりする「前処理機能」を開発する。

4.3. 外部サービスとの連携強化

現在ヤラクゼンは、ウェブサイト用 CMS (Content Management System)「WordPress」の専用プラグインを無償提供している [5]。今後もこのような外部 CMS やドキュメント関連のオンラインサービスと API を利用して連携を図っていく。

4.4. モバイル対応・言語の拡充

急増するスマートフォンユーザーに対応するため、ヤラクゼンをモバイル対応させる。その際には、比較的小規模で高頻度に発生するメール翻訳などの用途や、翻訳プロジェクトの進捗管理などある程度用途を特化した形で開発する。

また、日英を中心として、随時、他言語のサポートを拡大していく。

5 協力者の募集

ヤラクゼンは、その開発及びマーケティングにおいて、協力者を募集している。興味ある方は、suguru@yaraku.com (担当: 坂西) まで連絡ください。

謝辞

本執筆を手伝って下さった下記二名に感謝します。

関西大学 外国語学部 准教授 山田優

奈良先端科学技術大学院 情報科学研究科 知能コミュニケーション研究 助教 Graham Neubig

参考文献

- 1 Common Sense Advisory “The Language Services Market: 2015”
- 2 日本翻訳連盟 2013 年業界調査報告書 完全版 翻訳白書
- 3 ヤラクゼン API
<https://www.yarakuzen.com/business/integration/>
- 4 ヤラクゼン WordPress
<https://wordpress.org/plugins/yarakuzen/>
- 5 ヤラクゼン ニュースリリース
<https://yarakuzen.com/release-yarakuzenpersonalplan>